

地域密着型サービス
令和3年度 第4回運営推進会議議事録
運営推進会議の開催状況について

法人名・事業所名	社会福祉法人幸清会 地域密着型特別養護老人ホーム財田の杜		
所在地	虻田郡洞爺湖町川東80-16		
担当者名・連絡先	施設長 吉田 恵	TEL 0142-82-4710	
従業者	従業者総数 21人（内訳：常勤20人 非常勤4人）（令和3年11月21日現在）		
うち夜勤の従業者	1日当たり事業所全体の勤務従業者数 2人		
運営推進会議の開催日	2021年 11月 25日 （令和3年度 第4回）		
運営推進会議の構成員	所属（団体等）名	職 名	
入居者			
入居者			
入居者の家族			
地域住民の代表者	川東地区自治会	自治会長	
地域民生委員	民生委員	洞爺湖町民生・児童委員 洞爺湖町福祉調査員	
地域協力者	洞爺総合支所	支所長	
地域包括	地域包括センター	センター長	
市町村職員	洞爺湖町役場	介護保険グループ主幹	
地域社協	社会福祉協議会	北海道地域福祉 生活支援センター委員	
地域消防	西胆振行政事務組合 消防本部 洞爺出張所	消防職員	
地域駐在所	伊達警察署 洞爺駐在所	所長	
施設職員	財田の杜	施設長	
施設職員	財田の杜	ケアマネジャー	
施設職員	財田の杜	生活相談員	
議題	○活動状況の報告・その他報告事項 ○会議の出席者からの事業所の活動状況の評価 ○事業所への要望、助言等の意見聴取		
利用状況	利用者総数 29人（令和3年11月20日現在）平均介護度2.46 稼働率96.22%		
	要支援1：0人	要支援2：0人	要介護1：7人
	要介護3：5人	要介護4：8人	要介護5：0人
			要介護2：9人
交流・行事等の実施状況	（直近約2か月又は前回報告以降） ○利用者の家族との交流内容 ※10月、11月はありません。		
内容	○地域との交流内容 ※10月、11月はありません。		
	○その他の事業		

<p>・その他の事業 など</p>	<p>9月27日 給食・職員・防災会議、施設内「プライバシー保護研修」 28日 行動規範委員会 30日 運営推進会議（書面） 法人内「労務管理研修」参加1名 10月7日 法人内「中途採用職員研修」参加2名 11日 主任会議、施設内「権利擁護研修」 20日 令和3年度第2回法人監事監査 25日 行動規範委員会 26日 給食・職員・防災会議、施設内「ユニットケア研修」 11月2日 生活保護定期訪問面談1名 8日 主任会議、身体拘束適正化・虐待防止委員会 施設内「感染症対策シミュレーション訓練」 15日 インフルエンザ予防接種 入居者27名職員4名 22日 給食・職員・防災会議、リスク管理委員会（事故・感染） 25日 法人内「令和3年度入社職員フォローアップ研修（6ヶ月編）」参加1名</p>
<p>事故の状況</p>	<p>1件 経緯 令和3年X月Y日 A氏は朝食後リビングで過ごしている。食事席から立ち上がり歩き始めようとした際、左足を椅子の後ろ脚にひっかけてしまい、そのまま床に手をつくことなく倒れうつぶせ状態となる。A氏は額を触り「頭が痛い、こんなの初めてだ」と話しており、確認するも変色や腫れはなく様子観察。翌日には頭痛や吐き気、手のしびれ等の症状はなく経過。左目尻近くの痛みのみ聞かれる。二日後に洞爺温泉病院の往診で會田医師より診察を受け、その翌日に受診し検査の指示を受ける。頭部CT検査の結果、脳出血はないが左眼窩外側の亀裂骨折と診断を受け、事故となった。</p> <p>原因・再発防止策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原因 <ul style="list-style-type: none"> ①リビング食事席から立ち上がる際に、テーブルと椅子の間隔が狭く立ち上がり歩き始め動作においてふらつきや躓きが発生しやすい状況にあり転倒してしまったのではないかと。 ②職員は日頃の本人の動作において、原因①にあげた食事席から立ち上がる動作でふらつきや足を椅子の脚にひっかけていることを何度か確認しており、転倒に繋がる危険があると認知し情報共有はできていたが、対応策の検討・実施はできていなかった。 ・ 再発防止策 <ul style="list-style-type: none"> ①リビング食事席で過ごす際は、本人の立ち上がり動作が安定するように、テーブルと椅子の距離を広めに取り、食事の時には距離を狭くし対応をする。 ②日常生活において転倒の危険（ヒヤリハットⅠ）に気づいた際は、当日出勤の職員ですぐに対応策を検討し実践する。ヒヤリハットⅠの発生と対応策の実践後の結果を合わせて、次に出勤する職員へ引き継ぎ、そこでもすぐに検討・対応策の見直しを行い大きな事故に繋がらないよう努めていく。 ③本人の生活動作において、今回のようなケースの他に、転倒の危険が考えられる場面を整理し支援方法を改善する。
<p>ヒヤリハット報告</p>	<p>(9/21 ~ 11/20) 全9件 ヒヤリハットⅠ 4件 (内訳 ふらつき4件) ヒヤリハットⅡ 5件 (内訳 転倒4件、尻餅1件) 苦情ヒヤリハット 1件 (内訳：窓越し面会時の窓の汚れに対して1件)</p>

相談・苦情の状況	(直近約2か月又は前回報告以降) 苦情 無 相談 20件 (内訳: 入退居3件、受診4件、面会3件、今後の治療や方針2件、入退院2件、他6件)
身体拘束の状況	有: <input type="checkbox"/> 無: <input checked="" type="checkbox"/> 身体拘束等適正化委員会(直近の開催日 令和3年11月8日)
感染症等の発生状況	有: <input type="checkbox"/> 無: <input checked="" type="checkbox"/>
その他の報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ・「新型コロナウイルス感染症の予防策及びご家族への対応」 ・面会再開について ・法人内研修の様子を見学(令和3年度入社職員フォローアップ研修)
添付資料	<p>有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財田の杜 運営推進会議報告資料 ・「財田の杜通信」「ユニット広報誌」 ・面会制限の一部解除についてお知らせ
<p>会議出席者より</p> <p>事業所の活動状況の</p> <p>評価事業所への</p> <p>要望・助言等</p>	<p>*ご意見</p> <p>●A氏 人員不足について。地域の方々にもお声をかけさせていただき短時間でも介護補助などのお仕事ができる方がいればご連絡をさせていただきます。 施設の返答: そういった方がいましたら、ぜひお声掛けいただきご紹介ください。お仕事の内容や時間等については改めて説明をさせていただきます。</p> <p>●B氏 お話だけでもボランティアとして1~2時間程度来るのはどうでしょうか。それでしたら私でもできそうですね。 施設の返答: 入居者様とのコミュニケーションをしていただけるだけでも大変助かります。コミュニケーションをとることで安心にも繋がるのでよろしくお願いします。</p> <p>●C氏 コロナの影響で入居者様の認知症の症状が進行したと感じますか? 施設の返答: コロナの流行で色々な制限がかかり、それが影響して入居者様の認知症の症状が急激に出たというようには感じません。入居者様の中でご家族様を強く拠り所に行っている方は、面会ができなくなったことで心理的に大きく影響があったのではないかと思います。</p> <p>●D氏 人員不足対策として見守りロボットなどの導入はありますか? 施設の返答: 実際に施設では眠りスキャンや音声記録システムを導入し活用をしているが、なかなか業務改善には生かしきれない現状。本体施設では介護見守りロボットの試用をしたが、性能がまだまだな感じで入居者様とのコミュニケーションがうまくできていなかった。</p> <p>※その他、特にご意見やご質問などはなかった。</p> <p>次回の会議は、令和4年1月27日(木) 13:30~の開催としている。</p> <p style="text-align: right;">以上で、会議を終了する。</p>